

平成 29 年度 新潟県立十日町高等学校 シラバス

教科名	科目名	学科・学年・類型	単位数
地歴	地理総合	普通科・3年生・文系	4
教科書 副教材等	[主たる教材] 『新編詳解地理B』 (二宮書店) 『高等地図帳』 (二宮書店) [副教材] 『最新地理図表ジオGEO』 (第一学習社) 『新地理要点ノート』 (啓隆社)		

1 科目の目標

現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2 科目の内容

- (1) 既習事項の総合的な復習
- (2) 2年次に履修した系統地理の発展的な内容の学習
- (3) 他の単元と関連させた総合的かつ多角的な考察
- (4) 世界の諸問題についての主体的な学習

3 授業計画 (4単位 * 35 140時間)

月	内 容	配当 時間	指導上の留意点
4月 5月	○オーストラリア、インド、日本 (歴史、自然環境、鉱物資源と観光資源、グローバル化) ○東南アジア、ヨーロッパ、北アメリカ (自然環境、民族と歴史、EU、自然環境、北米経済) ○1学期中間考査	18	・地図帳や資料集を活用しながら、各事象について具体的にとらえさせるよう心がける。
5月 6月	○地図化して課題を探る (地図化の目的と方法、地図の基本) ○地域区分して課題を探る (地域区分の目的と方法) ○1学期期末考査	26	・2年次に履修した内容や他の単元との関連について考えながら、総合的かつ多角的に考察させる。
7月 10月	○国家間の結びつき (現代世界における国家間の結びつき) ○交通、通信、物やサービス (交通、通信手段の発達) ○2学期中間考査	36	

10月 12月	○近隣諸国と日本、大韓民国、中華人民共和国、ロシア連邦 (近代から現代にいたる日本と近隣諸国、日本とのつながり) ○世界のエネルギー問題、世界の環境問題 (深刻化する多様な環境破壊) ○2学期期末考査	36	
12月 3月	○世界の人口問題、世界の食糧問題 (人口の構成と移動、世界的視野から見る食料問題) ○センター試験向けの問題演習も含む ○二次、私大向けの問題演習「課題学習」も含む	24	・世界の諸問題について、主体的な態度で考えながら地理的な見方・考え方を身につけさせる。

計 140 時間 (55 分授業)

4 学習評価

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
評価の 観点 ・ 規準	人間生活は多くの地理的事象（自然環境・社会環境）の影響を受けていることに興味を持ち、積極的に関わり、課題提出も確実である。	学習内容をもとに、世界の問題が身近な問題に深く影響していることが理解でき、それらの問題について自分の意見を文章で表現できる。	自分で調べたことを、地理的な技能（図・グラフ・視聴覚教材など）を使い、まとめることができる。	高校生としての最低限の基礎知識を身に付けている。 我々人間は様々な地理的事象の中に生きていることを理解している。
評価方法	・授業への取り組み ・ペア学習やグループ学習 ・授業プリントや課題等 ・定期考査	・授業への取り組み ・グループ学習や発表活動 ・授業プリントや課題等 ・要点ノート作成	・発表活動 ・授業プリントや課題等 ・要点ノート作成	定期考査 小テスト・課題プリント

5 担当教員

地歴科教諭

6 担当者からのメッセージ

現代社会を生きる私たちにとって、文化・政治・経済どれをとってもある特定の地域や1カ国だけで現在の課題を解決できなくなっている。地球環境問題、民族・宗教・領土問題、人口問題などグローバル規模で解決しなければならない問題は山積みである。

このような時代に飛び込む君たちは、近い将来世界の人々と触れ合う機会が多くなるだろう。その際、相手の文化・伝統を理解しておくことが必要となる。また、情報化社会の中で無数に飛び込んでくる情報をいかに正しく把握し判断をしていくかも重要となるであろう。

地理の学習は必ずや君たちの将来を手助けし、人生を豊かなものとしてくれるはずである。